

試合中止細則

■大会において

- ・荒天や会場が使用出来ない場合は連盟事務局にて開催可否を決定する。
- ・開催不能となった場合は原則【再試合】とし、試合途中で中止となった場合、【再試合】【再開試合】【中断時点での試合終了】いずれかの判断※を連盟事務局にて決定する。
※判断要素として試合の経過時間、得点差、戦況などを関係者からヒアリングし、日程を考慮する。
- ・通知方法：大会会場連盟運営責任者→当該チーム代表者もしくは連絡責任者

■リーグ戦において

- ・決定判断手順：当日運営担当チーム→リーグ幹事長→リーグ統括にて決定。
 - ・決定後の連絡手順：当日運営担当チーム→派遣審判員ならびに当該チームへ通知連絡。
※当該チームは、通知にタイムラグがあるため、会場へ向かう事とする。
- 《経費等の取扱について》
- ・試合開始前またはハーフタイムで中止となった試合の派遣審判員には、謝礼と交通費を支給する。
 - ・また、派遣審判員への謝礼等に加え、副審への謝礼および本部運営費を支給する。
 - ・中止を決定した試合、以降の試合の派遣審判員には、会場に到着済みまたは向かっている審判員には交通費を支給する。
※会場に到着されていない場合は振込で支給する。
 - ・天候要因により会場費の返金が行われる会場以外で返金の取扱いがない会場費は連盟が負担する。
※当日、窓口等で現金支払いした場合は後日連盟リーグ会計から当該リーグ会計へ振込で支払う。

I. 両チームの責任でない場合

- ・試合がいずれかのチームの責任なき事由(落雷、豪雨等の荒天、会場使用不可、熱中症対策、救急搬送)により開催不能となった場合は、原則【再試合】とする。
ただし、【再試合】の日程が確保できない場合は0-0の引き分けとして扱う。
 - ・試合著中に落雷等、チームに責任なき事由による中断は10分を目安とする。それ以上の中断の場合は【再試合】【再開試合】【中断時点での結果で試合成立】のいずれかで取り扱う。
 - ・【再試合】【再開試合】【中断時点での結果で試合成立】の判断基準は下記のとおりとする。
ただし、【再試合】【再開試合】の日程が確保できない場合は【中断時点での結果で試合成立】として扱う。
※再試合、再開試合の場合は日時、試合会場、派遣審判員、メンバー登録など新たに設定することができる。
※再試合、再開試合の本部運営担当チームはリーグ幹事長とリーグ統括が協議のうえ決定する。
- 判断基準
- ★試合経過時間が70%以上であれば、【中断時点での結果で試合成立】とする。
 - ★試合経過時間が50%以下(前半終了)であれば、【再試合】として別日で日程調整する。
 - ★試合経過時間が50%を超え70%未満であれば、【再開試合】として別日で日程調整する。
- ・当該試合中に出された警告、退場および退席処分は、再試合、再開試合実施ならびにそれを行わない場合でもすべて有効とする。

II. チームに責任がある場合

- ・試合が一方のチームあるいは、両チームの責任における事由により不成立または中止となった場合は下記に準ずる。

【不成立の場合】

- ・試合開始時に選手が 7 名未満の場合は不戦敗とする。(得失点は 0 - 3 とする。)
- ・当該チームの処分は、規律・フェアプレー委員会にて協議決定とする。

【試合途中中止の場合】

- ・試合途中に選手が 7 名未満になった場合、当該チームを不戦敗とする。
(得失点は中止となった時点のスコアに不戦勝となるチームへ 3 点加算する。)
- ・当該チームの処分は、規律・フェアプレー委員会にて協議決定とする。
- ・当該試合中に出された警告、退場および退席処分はすべて有効とする。

III. 警告退場処分による出場停止カウント

- ・両チームの責任でない場合は、算入 (カウント) して有効とする。
- ・チームに責任がある場合は、責任あるチームおよび選手に対しては、算入 (カウント) しないものとする。

以 上

見直しの背景

先日の雷雨によるリーグ戦中断⇒中止の措置が行われた。

当該試合は最終節でリーグ優勝のかかった試合、当該試合は 0-0 の状況で 70%の試合時間を経過していた。

仮にスコアが 3-0 の点差がついていた場合も現規定では【再試合】が原則となる。

リーグ優勝がかかる場面ではこの措置は受け入れ難くこれを機に見直しを提案したい。

	従来	見直し
開催不能	原則【再試合】	原則【再試合】
途中中断	原則【再試合】 例外、日程確保が難しい 70%以上⇒中断時点で試合成立 70%未満⇒0-0 引き分け	70%以上 ⇒ 中断時点で試合成立 50%以上~70%未満 ⇒ 再開試合 (別日で途中から残り時間を行う) 50%未満 ⇒ 再試合 (試合を別日で設定し頭から)

意見

翌月のスケジュールで試合日程が組めない場合は日程確保が難しいと判断する。

・再開試合は J リーグくらいでしかやっていない。残り時間のために当該チーム・審判・本部を手配するのはあまり有意義ではないのではないか (西村審判部長)

・70%進捗判断も判断基準を明確にしておいた方がいい。誰の時計で判断するのかと必ず揉める。また、前半終了時点などわかりやすい時点で切るのもわかりやすい (西村審判部長)